【島根県】

島根県立矢上高等学校
邑南ヤングアップ
～地域と学生を繋ぐプロジェクト～

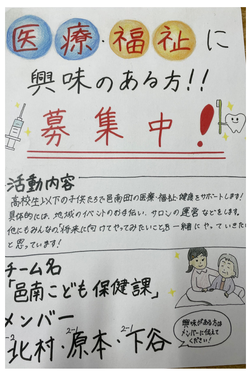
高校生ボランティアアワード2023

邑南ヤングアップ

グループロゴマーク

学生が医療や福祉、健康を支えることをイメージしました。

矢上高校では毎年2年生が総合的な探究の時間に邑南町の抱える課題を地域の人と一緒に解決するために様々な活動をします。このグループは昨年度の「地域の予防医学を考える」をテーマに活動をしたチームの活動を引き継ぐ形で今年度結成しました。
昨年度、授業の一環として行った探究をさらに深め、より地域と一体となり、継続して活動ができるように医療や福祉、健康に興味のある矢上高校生を募りました。
現在、3年生3名、2年生6名、1年生1名で活動をしています。この活動が軌道に乗れば、高校だけでなく、中学生、小学生、年齢を超えてさらに活動の幅を広げていきたいと思っています。



メンバーの募集を呼びかけるポスターを作成

グループの立ち上げは３年生３名で行いました。医療・福祉に興味のある生徒を集めるために、ポスターを作成し、各教室に張り出しました。
グループ内では常に興味や意欲のある学生たちが「やってみたい」と感じたことを主張できる、挑戦できる雰囲気であることを大切にしています。

インスタグラムアカウント開設

日々の活動の様子や予定を投稿しています。インスタグラムにアップすることで、たくさんの方に興味を持って欲しいと思っています。ぜひご覧ください。

目指すもの・志

- 邑南町を若い力で支える
- 若者の経験値をアップさせる
- 活動を通して地域と学生を繋ぐ

自分の強み、興味に合わせ３つの班で活動

医療・福祉班

邑南町内で行われる高齢者向けサロンや寄席などの地域イベントにボランティアとして参加しています。予防医療の観点から、邑南町だからできること、そして高校生だからできることを考えながら活動をしています。今後は、高校生が主体の高齢者向けサロンを開催する予定です。このサロンでは運動と健康班と食と健康班とも協力し、オリジナルの体操や菊芋の広報活動などを行いたいと考えています。また、邑南町内の介護福祉施設の利用者との交流会などにも挑戦してみたいと考えています。

運動と健康班

総合的な探究の時間に作成した体操ビデオや高齢者体育大会、ウォーキングスタンプラリーのイベントにボランティアとして参加し、邑南町民が運動を通して健康を維持するとこを目標として運動イベントのお手伝いをしています。今後は、邑南町の地区別戦略事業として行われているノルディックウォーキングや邑南町と友好交流活動を行なっているフィンランド発祥の軽スポーツであるモルックのイベントの開催を考えています。

食と健康班

「起業探究」という授業で邑南町の特産品である菊芋について勉強しました。菊芋は栄養豊富ですが、あまり食べられていないことを知り、もっと多くの方に菊芋を食べてもらえるように菊芋の広報活動を行っています。現在はポスターを作成して菊芋の栄養やレシピを広報していますが、今後は菊芋を使った商品開発にも取り組みたいと考えています。

地域に出て活動

道の駅のイベントで健康体操を実施

オリジナルの健康体操をイベントで実施し、参加者が無理なくできるかどうかを調査しました。この調査を基に、自宅でも実施できるよう体操ビデオを作成しました。

おおなんウォーキングスタンプラリーでイベントを実施

幅広い世代の方が楽しく運動できるように、スタンプラリーの中でジェスチャーゲームや〇〇探しゲームを実施しました。

中野地区高齢者体育大会に参加

小学生と一緒に運営補助に入りました。
高齢者の方でもできる競技を中心にしており、高齢者サロンを開く際の参考になりました。

矢上高校生が作成したビデオ体操

体操ビデオを作成するにあたって、邑南町役場保健課の方に指導に入っていただきました。また、いばらMIRAIクラブさんに協力いただき、井原地区の風景を入れ、視聴者が飽きないよう工夫をしました。今後高齢者サロン等で活用していきたいと思っています。

和田原ふれあいサロンに参加

高齢者向けサロンにボランティアとして参加し、他の参加者の方々と一緒に体操をしたり歌を歌ったりしました。

高齢者サロン開催に向けて、社会福祉協議会さんと打ち合わせ

月1回のペースで社会福祉協議会さんに来ていただいています。高齢者サロン運営の相談をさせていただいたり、ボランティアに関してのお話をしていただいたりしています。

今後の展望・夢

学校と地域を繋ぐ架け橋に

昨年度は授業での活動がメインでしたが、今年度はさまざまな計画に向けて３つの班がそれぞれで動いています。しかし、大きなイベントや困ったことがあればチームで共有して力を合わせるようにしています。昨年度の『総合的な探究の時間』に、地元の子供達も中学生や高校生になると公民館を利用することや地域のイベントに参加することがほとんどなくなってしまう、ということを地域の方から聞きました。また、邑南町内で行われる高齢者向けサロンなどのイベントを主催する方々の高齢化も進んでおり、町内全体で人手不足が深刻な問題となっています。地域との関わりが薄れてしまいがちな**私たち高校生だからこそできることがある**のではないかと考え活動を進めてきました。ボランティアを通して関わった多くの方に**「ありがとう」**という言葉をいただきました。学校に電話をかけて感謝を伝えてくださった方もいらっしゃいました。その言葉に自分たちの活動は地域の方に必要としてもらえている、笑顔になってもらえている、と感じました。これまでの活動を通して**私たち自身が地域の人々にたくさんの元気をもらいました。**このグループは地域の人々に支えられて活動を行っています。高校生がやりたいと言ったことにも**大人たちが全力でサポート**をしてくれる邑南町でなければこのような経験をすることができないと思います。いつまでも地域の人々への感謝の気持ちを忘れずにもっと様々なことに挑戦していきます。
私たちが目指す邑南ヤングアップは、**学校と地域を繋ぐ架け橋**であり、医療や福祉、健康に興味のある学生がその分野に関する経験を積み、健康の面から邑南町を支えるグループです。しかし、どんなに私たちが活動を頑張っても数年で活動が終わってしまえば、地域と学校の架け橋にも邑南町を支えるグループにもなれず、貴重な経験を積むこともできません。今の邑南ヤングアップを私たちが理想とするグループにするには、私たちが卒業した後も活動を続けてもらう必要があります。そのためにまず、私たちがグループの土台をしっかりと作るべきだと考えました。学校の先生方を始めとし、社会福祉協議会の方々や邑南町保健課の方に活動内容についてアドバイスをいただくなど、たくさんの大人にサポートをしていただきながら**持続可能な活動**をしていきます。これからも邑南町の人々と一緒に奔走していきます！